



ZERO CARBON CITY TOKOROZAWA



まちごとゼロカーボン市民会議（第2回）
2022年9月25日

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

グループワーク 結果の説明

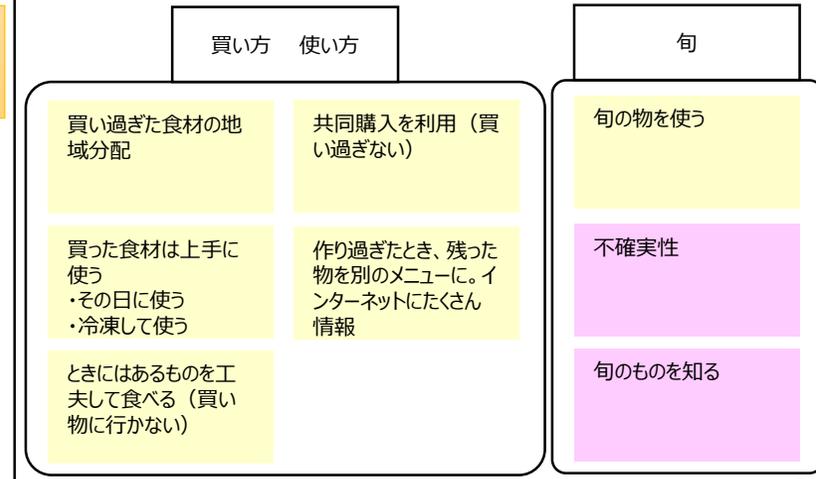
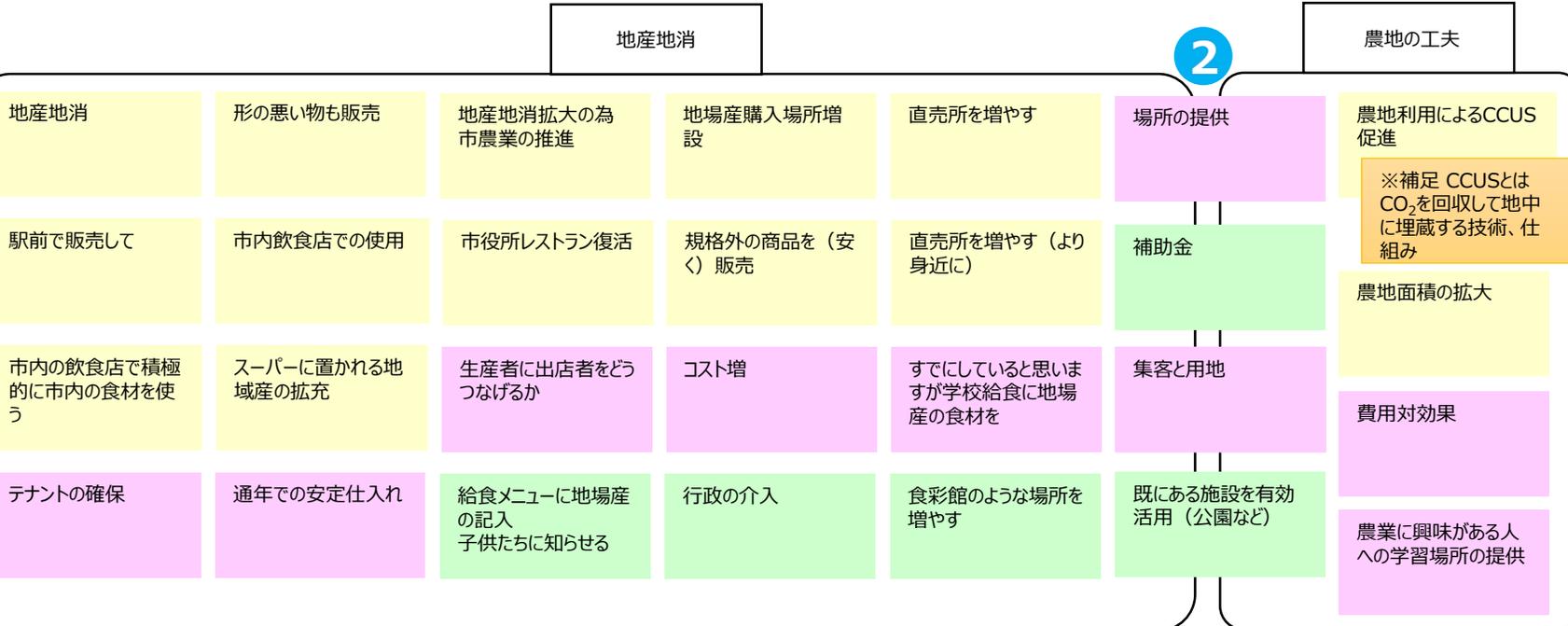
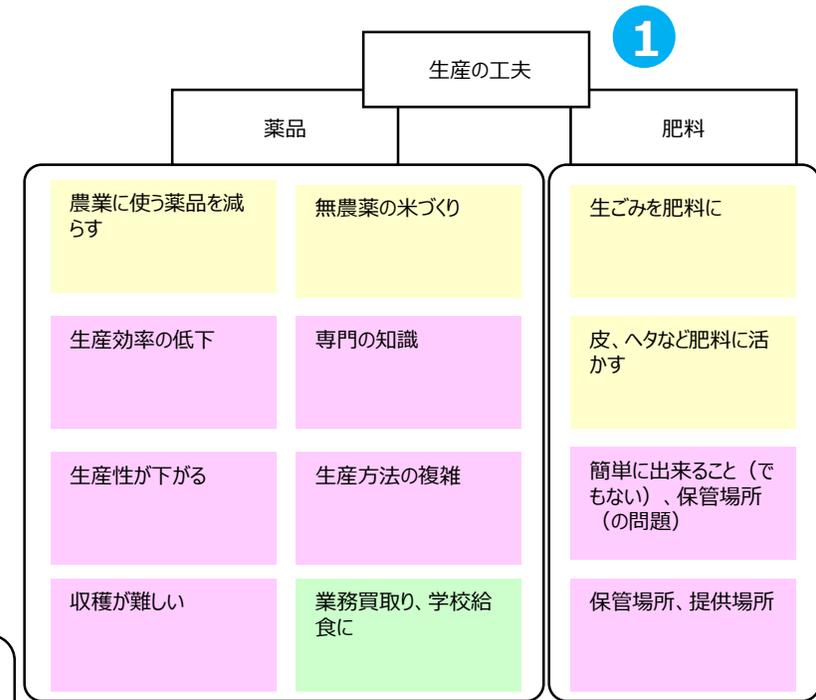
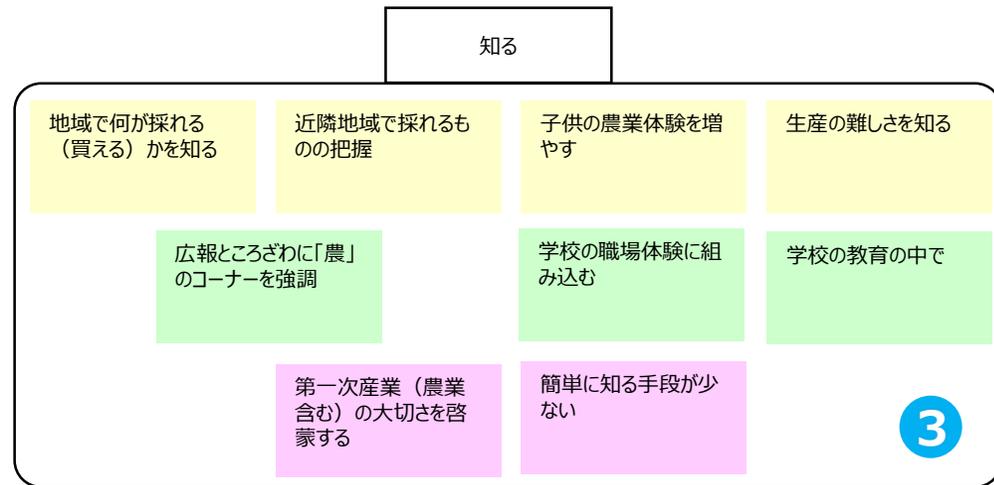
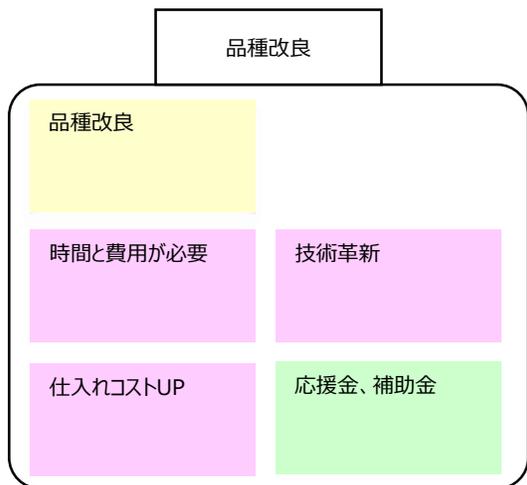


- ※ 黄色のポストイットは「取り組んだ方が良いこと」を書いたものです
- ※ 桃色のポストイットは「取り組むにあたっての課題」を書いたものです
- ※ 緑色のポストイットは「課題への方法（対策）」を書いたものです
- ※ 柿色のポストイットは、会議中もしくは会議後に補足説明するために加えたものです
- ※ 水色の番号①～③は、グループがイチオシする「課題への方法（対策）」です。発表にあたって優先順位をつけました。議論の進捗状況により、優先順位がついていないグループもあります。

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

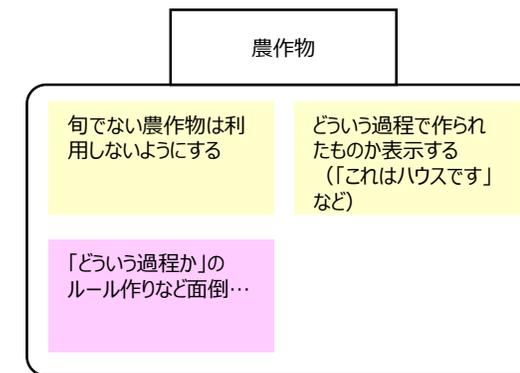
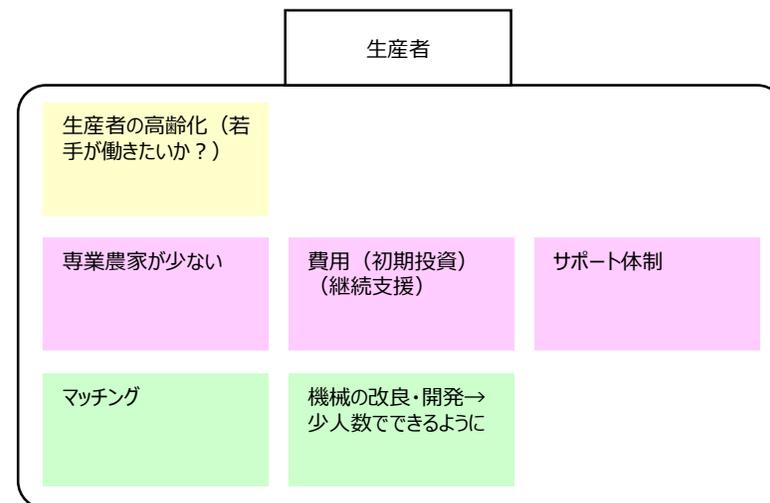
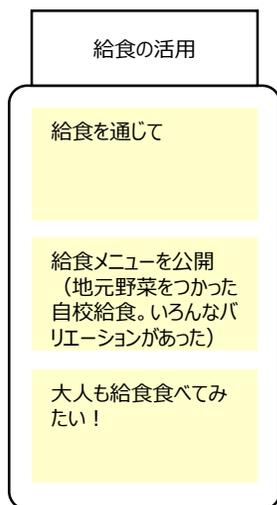
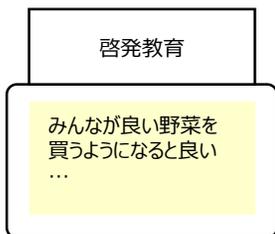
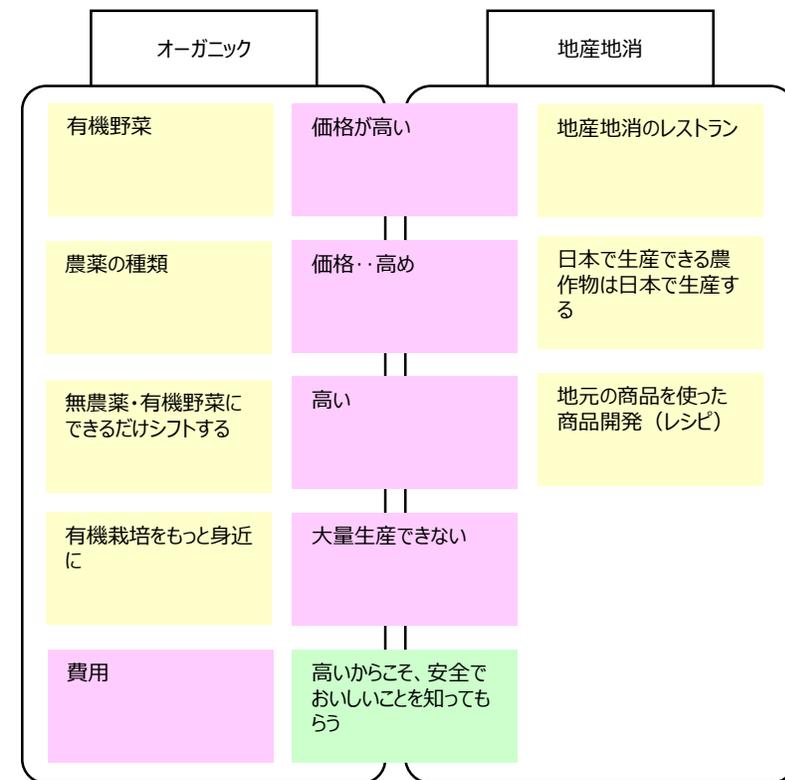
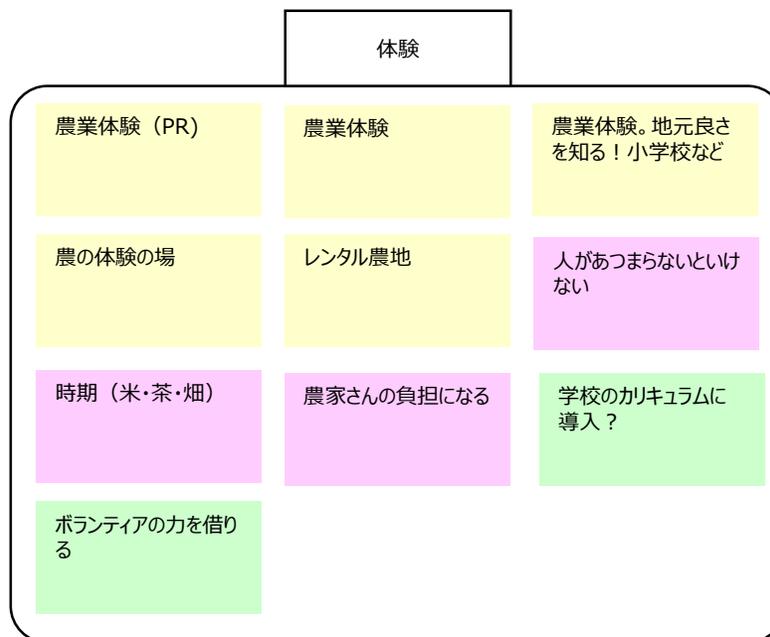
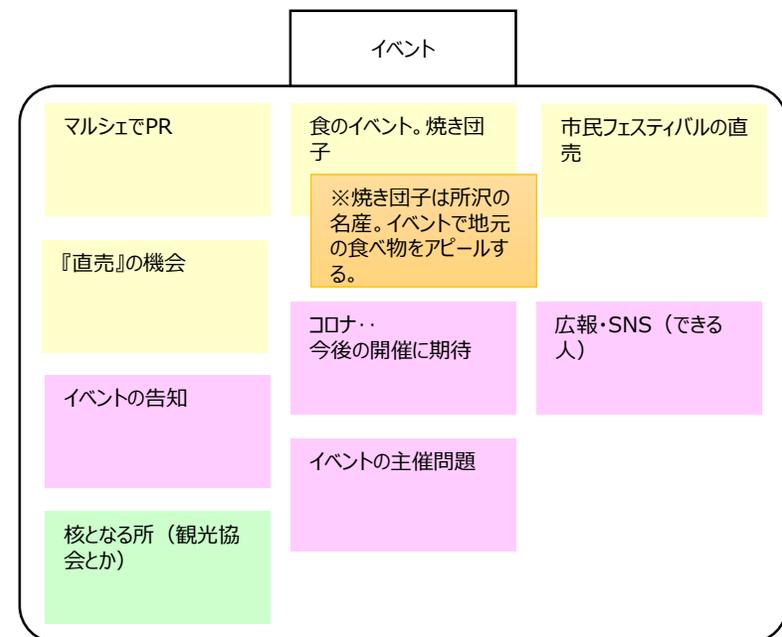
グループ1



マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

グループ2



マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

グループ3

情報発信

1

所沢での「にぎやかな取組」をPRする	直売イベントのPR	小学校から所沢の農業にもっと触れる（茶畑しか教わらなかった）
所沢市の新しい取組を市民に認識してもらう		
地産地消がどうゼロカーボンに繋がるのかが分かりづらい	直売イベントなど、イベントでしかなく、単発の行動になる	小学校の協力が得られるのか
小学生にポスターを作ってもらおう	所沢市が標語を募ってPRする	インスタグラムにPRしてもらおう（行政からの案件として）
イベントを毎週の恒例イベントにする	地産地消がゼロカーボンに果たす役割を全面にPR	西武鉄道にPRをお願いする
口コミを広げる	小学校の社会の授業で地産地消を扱う	保護者会場でポスターを展示する

食品ロス減少

2

形や色の悪い作物を捨てない	正直カードの普及 ※商品の状態を正直に伝えて、品質の悪い作物を捨てずに販売する	売り手の協力
消費者が買いたくなる策を練る（値下げ、バラ売り）	学校給食の材料にする	

担い手

再雇用で地元の農業を盛り上げる	人手の不足	企業のリスキル、副業制度を活用
-----------------	-------	-----------------

土の保全

除草剤を使わない	手間・虫刺されなどの兼ね合い
----------	----------------

協働

所沢だけではなく、近隣の自治体と協働する	行政間でどんな協力ができるのか
----------------------	-----------------

土地の利用

市民菜園の普及	空き地の土地活用	土地の持ち主の意志
動物被害が出て農業のやる気がなくなる	農業をやりたい人がいるのか	相続で宅地化、耕作放棄地
営農者を募集する		

入手

所沢産を手に入りやすくする	スーパーで所沢産の野菜を目立たせる	スーパーなどの売り手の協力
売り手側へのメリットを提示する（補助金が出るなど）		

肥料

落ち葉を集めて肥料にする	コスト・人手をどう集めるか	環境美化活動（町内会・小学校）で落ち葉集めをゼロカーボンの取組みとしてPR	公園にコンテナを置いて集める
--------------	---------------	---------------------------------------	----------------

【用語の解説】
リスキル：必要なスキルを学び直すこと。

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

グループ4



食育

所沢市で行う食育（子供向け）	食べ残しをしない	所沢市の名物（肉汁うどんなど）を学校給食のメニューにする
堆肥作り教室と受け入れ先作り	食べ物の好き嫌いが課題となる	うどんが苦手な生徒は食べ残してしまう可能性もある
学習したことがすぐに活かされないかもしれない	レシピを工夫する	※野菜からスイーツを作るなど。苦手な食べ物への意識緩和
大人も学べる食育を実践する 3	見える化（可視化）した指標を作成する	※フードロスがなければ、CO2排出量を〇kg削減できるなど

地産地消

直売所（スタンド型）を活用し、充実させる	規格外商品を購入する	地産地消のメリットを知る
販売しているものの種類が少ない	生産者との連携が困難	地産地消が身近になり切れていない
その地域の特産品を作る	地域のスーパーに協力を仰ぎ、商品を陳列させてもらう	農業を身近に感じてもらえるような工夫を施す 2

農業に対する工夫

無農業農業を行う（肥料を工夫する）	所沢市で新品種の農作物を開発する	農業法人を増加させる
ビニールハウス内でヒーターを使わない	生産量が減少してしまう	20～50代の農家を増やす方法が限られている
人手が不足してしまう	一般市民に働きかける指導者の育成が不足している	所沢市役所に、農業に関連した課を新設する
技術改革を行う	早稲田大学に、農業に関連した学部・学科を新設する	農家と企業が協業したビジネスモデルをデザインする 1

「農」がある暮らし

市民農園をさらに普及させる	地域住民が使用することができる畑が身近にある暮らし（自給自足の生活）	農地を拡大する
※農業体験を地域住民間で開催する	農業を始めようと思っても知識不足。栽培が困難である	農地として活用する土地の確保が困難である
農地活用に関するPRが不足してしまっている	農業を身近に感じてもらえるような工夫を施す	

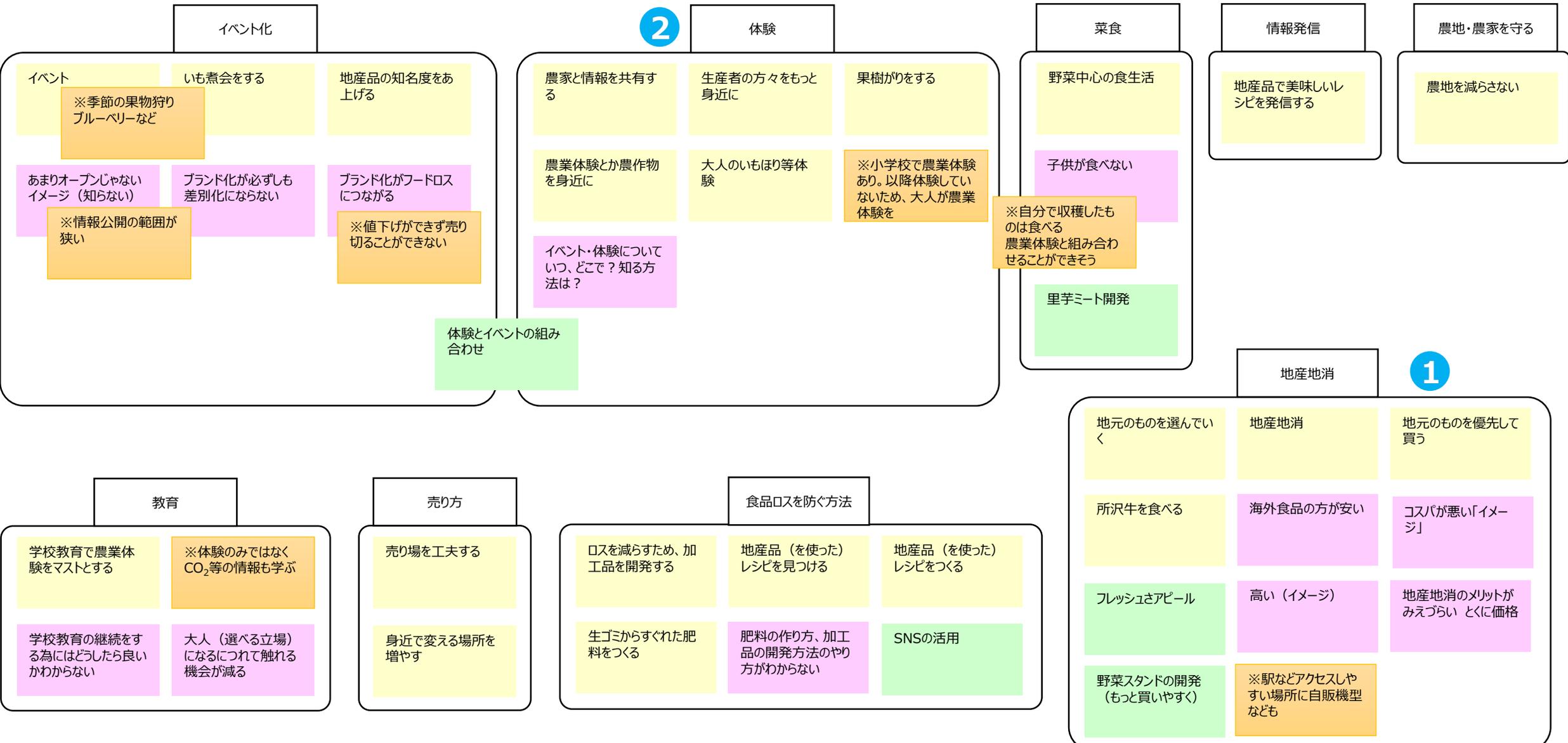
企業努力

私企業と事業体間の連携を図る必要がある	供給過多にならないような企業努力が必要である	飲食店側もフードロスを削減する努力が必要である
コストもかかり、現実的に難しいのではないかな	農家と企業が協業したビジネスモデルをデザインする	

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

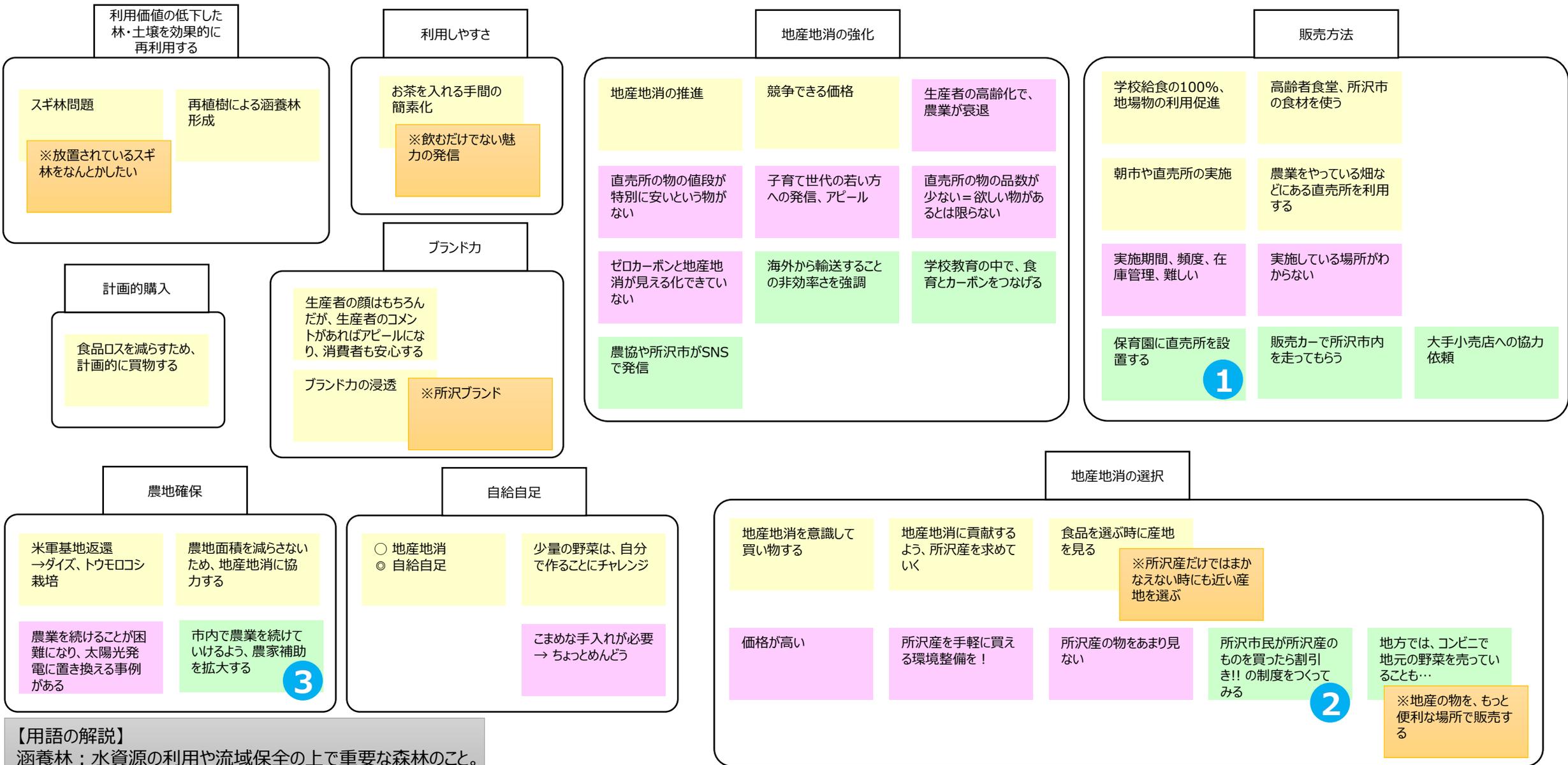
グループ5



マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

グループ6

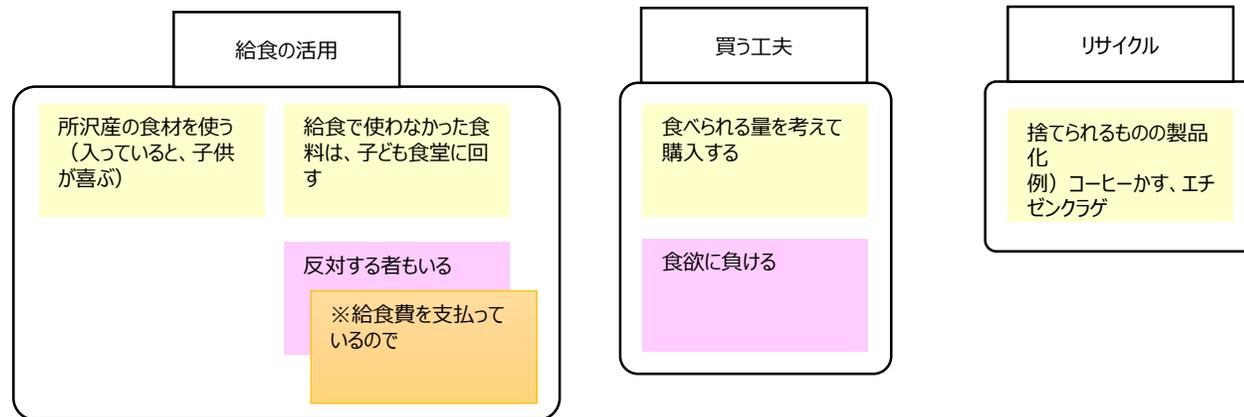
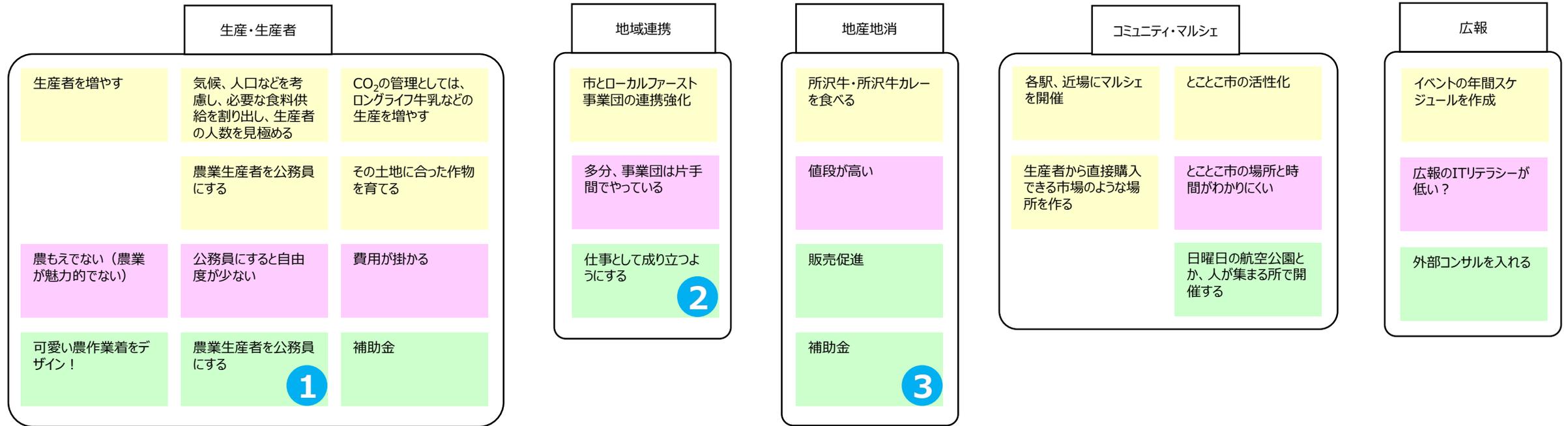


【用語の解説】
 涵養林：水資源の利用や流域保全の上で重要な森林のこと。

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

グループ7



【用語の解説】
 ローカルファースト事業団：所沢の地域資源のPRと地域住民との交流を目的とした事業を行う団体のこと。
 とことこ市：所沢の農産物や加工品の直売イベント「採れたて！農産物直売ととことこ市」のこと。
 リテラシー：読解・記述力、知識や能力のこと。

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：食・農からゼロカーボンを考える

グループ8



農法

環境にやさしい農法を用いる	行政が化石燃料を使わない自然農法を推進する	落ち葉堆肥の利用	よりよい土壌を作る ※炭素を蓄える、生物多様性
販売ルート開拓・周知が必要	自然農法は品質に不安がある	マンパワーが足りない（手間がかかる）	野菜によって肥料が違う
農家さんのお手伝いをするボランティア	収穫物をちょっともらえたいね	新しい事業として起業する ※人手が足りない農家を集めて新しい事業をする	森・神社など ※個人だと落ち葉の量に限りがあるので

1

食ロス回避

安いからといって買いきない	被害果などを積極的に買う	規格外の野菜を廃棄しない
農家さんの収入が減ってしまう	訳あり野菜を選択肢の一つに	
農家の方が困らない値段で買えるといい	忙しいどうしてもキレイな野菜を買ってしまう	

新しい取り組み

不作年の時の為に、農家がローカルネットワークを使いやすくする	※農家さんが生活に困らないようにできる仕組み
不作年は別の場所から買ったほうがいい	

家での取り組み

家庭でコンポスト	※家庭菜園で利用肥料削減、ゴミ削減
虫が出て恐ろしい	家庭菜園をしていないとコンポストもしづらい
公共施設・高層住宅でコンポスト	

広報

広報（市HPも）はあまり見ないのでSNSで直売所などの情報が欲しい	野菜の皮も食べた方が体にも環境にも良いと思うのですが農家が不安	レシピ動画
継続・コンテンツ	人気がないサイトだと見る人が少ない	生産者の推しメニュー
※コンテンツの数・充実性を継続できるか？		2

地産地消

地産地消をすすめる	品質が低い商品を『地産地消』でブランド化	何を売ってるかをSNSで広報	直売所を利用する
地元の農産物を出来るだけ購入	地産地消地元の食材を使うお店（飲食店）を利用する	こまごまとリアルタイムの情報を集めるのは難しい...	買い占め・モラル
地元の野菜を食べる	季節で作れる野菜が異なる	SNSは結局見ない人も多い	ムリかもしれないけどスマホ決済のみで支払わないと出れない店舗にする
	旬の野菜を利用する	老人の農家が多くなるとSNSが使えない	※買わないと出れない店（オンライン決済利用）
	スーパーなどで動画・アナウンスを流してもらおう	一般の人に協力してもらおう	直売会・直売日を設ける

3